



TITLE:

<矢野仁一博士追悼録>矢野仁一先生著作要目

AUTHOR(S):

CITATION:

<矢野仁一博士追悼録>矢野仁一先生著作要目. 東洋史研究 1970, 28(4): 45-56

ISSUE DATE:

1970-03-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/152801>

RIGHT:

矢野仁一先生著作要目

單 行 本

東 洋 歷 史

清朝史（早稻田大學講義錄の内）

北京誌（共著）

現代支那研究

近代支那論

近代蒙古史研究

近代支那史

近代支那の政治及び文化

支那近代外國關係研究

滿洲における我が特殊權益

近世支那外交史

國民東洋史大綱

曠 原（歌集）

滿洲國歴史

帝國教育會

早稻田大學出版部

博 文 館

弘 文 堂

弘 文 堂

弘 文 堂

弘 文 堂

イデア書院

弘 文 堂

弘 文 堂

弘 文 堂

目黒書店

自家版

目黒書店

明治三七年

明治三八年

明治四一年

大正十二年

大正十四年

大正十五年

昭和三年

昭和五年

昭和八年

昭和九年

清代の滿洲（世界歴史大系十一 朝鮮滿洲史の内）

現代支那概論―動かざる支那

現代支那概論―動く支那

日清役後支那外交史

東洋史大綱

長崎市史―通交貿易編 東洋諸國部

アヘン戦争と香港―支那外交史とイギリス一

アロー戦争と圓明園―支那外交史とイギリス二

滿洲史（全アジアの歴史大系の内）

東亞百年小史（新東亞讀本の内）

支那の歴史と文化（アジア歴史叢書一の内）

滿洲の今昔（アジア歴史叢書三の内）

近代西藏史研究（東洋史講座十五の内）

滿洲近代史

支那の社會と經濟（アジア歴史叢書二の内）

清朝末史研究

大東亞史の構想

惜春賦（歌集）

研史餘詠抄（歌集）

平凡社 昭和十年

目黒書店 昭和十一年

目黒書店

東方文化學院京都研究所 昭和十二年

目黒書店 昭和十三年

長崎市役所 昭和十四年

弘文堂

弘文堂

平凡社

内閣情報部

目黒書店 昭和十六年

目黒書店

雄山閣

弘文堂

目黒書店 昭和十七年

大和書院

目黒書店 昭和十九年

自家版

自家版 昭和三四年

燕 洛 間 記

古中國と新中國（カルピス文化叢書四）

中國人民革命史論

論 文

支那人の排外的精神、殊に基督教に對する嫌惡の情は竟に變移するの途なき乎

北京の天主教（上）（甌里人の筆名）

北京の天主教（中）（下）（甌里人の筆名）

燕京風塵錄 一 四川營と明末の女將軍秦良玉（迷羊生の筆名）

燕京風塵錄 二 法源寺（迷羊生の筆名）

燕京風塵錄 三 廣東義園と袁崇煥の墓守 四 金山の明景帝陵 五 回妃

と望家樓 六 裱糊胡同の于忠肅（忠節）祠 七 パークスと高廟（普濟寺）

八 西山麓の石碣と香山の健勝雲梯營 九 露國公使館の今昔（俄羅斯館、

會同館）（迷羊生の筆名）

葡萄牙の對支那關係及澳門境界問題（上）（下の二）（甌里人の筆名）

辛亥變亂小史（一）（甌里人の筆名）

辛亥革命史論序說（忙中閑人の筆名）

北京の露國公使館に就いて（一・二）

自 家 版

カルピス食品工業株式

會社

カルピス食品工業株式

會社

昭和三八年
昭和四十年

外交時報五一五五

明治三五年

燕塵一一一

明治四一年

燕塵二一一・五

明治四二年

燕塵二一五

燕塵二一六

燕塵三一四・五

明治四三年

燕塵三一六・七

燕塵四一一〇

明治四四年

燕塵四一一〇

藝文六一九・十

大正 四年

支那近時の帝政論

支那における天主教の保護權に就て

支那時局に對する第三說——内藤・吉野兩博士の支那時局私見を讀む

松花江の航行權（上・下）

蒙古問題（一〜十二）

阿片戰爭の眞因、明清時代の Macao に就いて（講演要旨）

茶の歴史に就て

支那に於ける近世火器の傳來に就て（上・下）

鴉片ト銀（上）

支那浪人論

支那關稅改正問題の研究（一〜五）

明時代に於けるマカオの貿易と其繁榮に就て

支那における西洋學（上・下）

葡萄牙のマカオ植民地の起源（上・下）

明の萬曆時代日本人のマカオ驅逐に就て

日清戰爭前後の露・佛・獨三國干涉、所謂 CASSINI 密約及び露國の旅大租借の眞相に就て（上・下）

新支那國際管理說と列國の特權拋棄

支那の開國（講演要旨）

葡萄牙人支那渡來顛末（一・二・三）

中央公論三十一—十一

史林一一一

大正 五年

外交時報二三—二七九

外交時報二四—二八二・二八三

外交時報二四—二八〇・二九一

史學雜誌二七—五

續史的研究

史林二—三・四

大正 六年

東亞經濟研究一一一

外交時報二五—二九四

外交時報二六—三〇四・三〇八

史林三—四

大正 七年

支那學一一三・四

大正 九年

史林五—一・二

史林六—一

大正 十年

外交時報三三—三九三・三九四

外交時報三四—四〇四

史學雜誌三二—十一

東亞經濟研究五—二・四

大正十一年

滿・蒙・藏は支那本來の領土に非ず

支那の開國に就て

支那の土司に就て

戊戌の變法及び政變（上・中・下）

清初の直隸侵略戰に就て

香山麓の石網と金山の明景帝陵（明の薊遼督師袁崇煥・女將軍秦良玉）

葡萄牙人支那渡來顛末（四・五・六）

まかおノ關關ト劃境問題ニ就テ

華府會議の齎せる支那の利益と不利益

支那は國に非る論

蒙古に於ける露西亞と支那（一〜四）

支那の國家及社會

蒙古の獨立及び獨立後の露支關係（一）

葡萄牙人支那渡來顛末（七・八・補遺）

遼東回收論の論理

葡萄牙マカオ殖民地に關する研究

支那の中心問題

蒙古の獨立及び獨立後の露支關係（二〜五）

三國干涉から露西亞の旅大租借まで（再び）

外交時報三五―四一二

史學雜誌三三―三五

支那學三一―三三

史林八一―一〇三

歴史と地理九―一三

歴史と地理九―四四

東亞經濟研究六―一二〇四

東亞經濟研究六―一二

外交時報三五―四一六

外交時報三五―四一七

外交時報三六―四二四・
四二六〇四二八

太陽二八―十一

外交時報三六―四三五

東亞經濟研究七―一〇三

大正十二年

外交時報三七―四三六

外交時報三七―四三九

外交時報三七―四四二

外交時報三七―四三七・
四四四

外交時報三八―四五一

西藏問題（一・二）

清代支那の領土及文化に就て

臺灣に於ける總督政治三十年の治績に就いて

漢人の蒙地開墾に就いて（上・下）

支那の記録より見たる長崎貿易に就いて（講演）

蒙古に於ける喇嘛教信仰の起源に就いて（上・下）

支那土匪論

支那の帝政と支那の文化

支那の社會の固定性

支那の共和政治の成立及び建設

南京條約以前の治外法權問題に就いて（上・下）

支那ノ記録カラ見たる長崎貿易（上・中・下）

共和政治の精神的破壊

外蒙古最近の形勢を論ず

支那の排外運動と日本の對策

支那に於ける鴉片問題の起因を論ず

清朝の諸叛亂と支那叛亂の性質

清朝盛時ノ平和ト文運

英吉利の日支初期貿易關係（上）

外交時報三八―四五四・四五九

太陽二九―十一

國家學會雜誌三八―九

史林九―三・四

史林九―四

歴史と地理十四―四・五

外交時報三九―四五八

經濟論叢二〇―一

經濟論叢二〇―二

經濟論叢二〇―三

經濟論叢二一―三・四

東亞經濟研究九―一―三

外交時報四一―四八二

外交時報四二―四九四

外交時報四二―五〇〇

經濟論叢二二―五

史林十一―二

東亞經濟研究十一―一

東亞經濟研究十一―四

大正十三年

大正十四年

大正十五年

嘉慶時代の艇盜の亂に就いて

白蓮教の亂に就いて

清朝の滿洲支配と支那人移住

支那の共和政は帝政の遺物

近代諸外國との關係に依つて支那に生じた影響を論ず

支那時局の重大と日本の好意政策の限界

徳川時代に於ける長崎の支那貿易に就いて（一・二）

支那の帝政と共和制

義和拳匪亂の真相につきて（附要旨）

寛永貞享時代の長崎の支那貿易（上・下）

英吉利の日支初期貿易關係（下）

長崎貿易時代初期の糸割符法に就いて

三跪九叩頭の禮に就いて

長崎貿易に於ける銅及び銀の支那輸出に就いて（上・下）

支那の國民主義革命の成敗に關する歴史的批判

貞享以後の長崎の支那貿易に就いて（上・下）

黃爵滋及び林則徐の鴉片奏議に就いて

緬甸の支那に對する朝貢關係に就いて

永祿寛永時代の長崎の支那貿易に就いて

歴史と地理十八—二

内藤博士還曆祝賀支那學
論叢

支那十七—三

外交時報四三—五二二

外交時報四四—五二二

經濟論叢二四—四

經濟論叢二五—五・六

啓明會第二一回講演集

史學雜誌三八—六・九

史學雜誌三八—十・十一

東亞經濟研究十一—一

東亞經濟研究十一—四

狩野教授還曆記念支那學
論叢

經濟論叢二六—一・二

經濟論叢二六—五

經濟論叢二七—五・六

高瀬博士還曆記念支那學
論叢

東洋學報十七—一

東亞經濟研究十二—一

昭和二年

昭和三年

昭和四年

長崎貿易最隆盛期時期の支那輸入貨物に就いて
支那内亂の慘禍と國民革命の成否

日本の滿洲に於ける特殊地位

イギリスの支那派遣使節アマースト (Lord Amherst) の使命失敗に就いて

ロシアの毛皮貿易及びその支那・日本との關係

西曆十七・八世紀間、イスパニア及びオランダの支那貿易に就いて

アヘン戦争の責任を論ず

ろーちやアロー號はイギリス船か アロー號事件はイギリス國旗の侮辱か
支那の領土權・宗主權の喪失及び減退―パミル (帕米爾) 及びカンジュート
(坎巨提) に於ける

十九世紀末の露支紛争 (上・下) ―リッヂャ條約からベテルブルグ條約まで

日本の滿洲に於ける歴史上の地位を論ず

咸豐八年^{西曆一八五八年}の天津條約と上海稅率會議の真相に就いて

フランスの支那における天主教保護權附・ドイツの南部山東保護權に就いて

滿洲問題と幣原外交

滿蒙に於ける日本の正常な地位

滿洲に於ける日支の眞關係

日本の滿洲に於ける歴史上の地位

歴史上より見たる滿洲

近代滿洲歴史序説

東亞經濟研究十二―二

外交時報四八―五六六

外交時報四八―五七二

史林十四―三

東亞經濟研究十三―一

東亞經濟研究十三―三

外交時報五一―五九〇

外交時報五三―六〇二

外交時報五五―六一四

外交時報五五―六一七・六一九

東亞三一―一

東亞經濟研究十四―一

東亞經濟研究十四―二

外交時報六〇―六四四

外交時報六〇―六四四

外交時報六〇―六四五

中央公論四六―十一

懷德十

東亞經濟研究十六―一

昭和 七年

昭和 六年

昭和 五年

滿洲事變の核心を論じて其の解決策に及ぶ

王道政治論

滿洲における支那人の人口と支那文化について

三國干涉と支那の外國援助要求（一・二）

滿洲國の將來を論ず

義和拳匪亂と露西亞の滿洲占領について

支那の邊疆問題

三國干涉と支那の外力要求（三・四）

再び外交文書の公刊を望む

北支那の自治と其の發展性

滿洲某高官に復して帝位繼承法を論ずる書

三國干涉後の露西亞と滿洲―露西亞の日本の遼東還附條約干涉から露清秘密條約まで

正徳新例前の長崎の支那貿易と正徳新例事情（上・中）

日支關係の歴史的回顧と展望

支那側露西亞側史料より見たる清季外交史上の二、三の事實について（要旨）三國谷宏（記）

支那側露西亞側史料より見たる清季外交史上の二、三の事實について（要旨）三國谷宏（記）

正徳新例前の長崎の支那貿易と正徳新例事情（下）

清朝の對蒙政策論

日支交渉史上の諸問題

外交時報六一―六五〇

東亞六一十二

東亞經濟研究十七―一

外交時報六八―六九二・六九三

支那二四―十

東亞經濟研究十八―一

東亞經濟研究十八―三

外交時報六九―六九八・六九九

外交時報七三―七二二

外交時報七七―七四六

漢學論叢一

東亞經濟研究二〇―一

東亞經濟研究二〇―三・四

東京商業會議所報六

東洋史研究二―二

東方學報（京都）八

東亞經濟研究二一―一

地友會雜誌二

史學研究九―三

昭和八年

昭和九年

昭和十年

昭和十一年

昭和十二年

昭和十三年

日支關係上の若干の重要事實について

徳川時代後期における長崎の支那貿易（上・下）

内外蒙古の問題

東洋史より觀たる支那事變の意義

日支兩國の交通と今次事變の意義

支那人の日本敵國思想と日本人の反省

滿洲に絡む日露の史的舊縁

東亞百年小史

東亞の再認識

蒙古の過去と將來

ロシアの朝鮮進出と日清戰爭の意義

日支文化の交流

蒙古における喇嘛教起原

日支外交史論（政治・軍事篇一）

西藏問題と英の對西藏政策（政治・軍人篇三）

東亞新秩序建設と新國民政府の發展性

北京・庫倫・恰克圖・粗魯蓋圖のロシア支那貿易

鴉片戰爭後の支那

愛琿條約・北京條約の研究

東亞經濟研究二二—一

東亞經濟研究二二—三・四

蒙古學三

歷史教育十三—三

文部時報六四〇

外交時報八九—八一八

外交時報九二—八三六

内閣情報部週報一二九

支那三〇—十一

東洋史研究四—四・五

東亞經濟研究二三—六

文藝春秋十七—十一

密教研究七一

アジア問題講座一

アジア問題講座三

經濟論叢五一—二

東亞經濟研究二四—三

興亞叢書四

東亞經濟研究二五—五

昭和十四年

昭和十五年

昭和十六年

近代支那の政治動向

滿洲問題を繞る日露支近代關係

支那文化の性格

日本人町と徳川の鎖國政策

中國における共產主義の成功についてのトインビー教授の歴史觀（上・下）
（後に中國革命史論に附載）

中國人民革命史論（首章）國民黨第一次全國代表大會宣言

變革期中國・朝鮮・ベトナムの歴史的展開と歸趨

理由（わけ）のわからぬ中共の文化革命——私の六つの疑問——

雜 錄

英國旗は支那に不正に翻らなかつたか（一）アヘン戦争の不正義

英國旗は支那に不正に翻らなかつたか（二）アヘン賠償金二重取り

英國旗は支那に不正に翻らなかつたか（三）アロー戦争の不正義

英國旗は支那に不正に翻らなかつたか（四）圓明園の掠奪焼燬

英國旗は支那に不正に翻らなかつたか（五）香港獲得の不當

内藤傳輔著「朝鮮史研究」序

私の東大時代の思い出（後に燕洛間記に附録）

北京時代の思い出（後に燕洛間記に附録）

新體制國民講座四

日本諸學振興委員會研究
報告特輯四編（歴史學）

學海一—六

學海一—七

岡山史學五—七

集刊東洋學三

季刊東亞五

月刊共產圈問題十三—八

大阪朝日新聞七月一九日

大阪朝日新聞七月二十日

大阪朝日新聞七月二二日

大阪朝日新聞七月二三日

大阪朝日新聞七月二四日

昭和十四年

昭和三十六年

以文五

册府

昭和三五年

昭和十九年

昭和十七年

昭和四三年

六十年の思い出（座談會）

新村出君の死を悼む

新村君の思い出

清朝滅亡前夜の北京

私の私立米澤中學校時代の數々の思い出と感想

濱田耕作君の偉大なる業績

東アジア歴史旅行

歌十三首

東方學二八

大阪毎日新聞八月六日

倉敷新聞八月二五日

高梁川二二

興讓館同窓會誌

古代學十六—二〇四

岩波講座世界歴史第九卷
月報十

青汁（同會雜誌）

昭和三九年

昭和四二年

昭和四三年

昭和四四年

昭和四五年